

再評価事業完了報告書(事後評価)

		調書作成年月日	令和 6 年 8 月 21 日													
		事業担当課	道路課													
事業名	地域高規格道路 みやぎ ^{けん} 県北 ^{ほく} 高速幹線道路 主要地方道 ^{つぎだて} 築館 ^{とよま} 登米線 IV期(築館工区)道路改良事業	補助・交付金・ 単独の別	補助	事業主体	宮城県											
施行地名	自:栗原市 ^{くりはら} 志波 ^{しわ} 姫南 ^{ひめ} 堀口 ^{ほりぐち} 至:栗原市 ^{くりはら} 築館 ^{つぎだて} 萩沢 ^{はぎさわ}	【位置図後掲】		管理主体	宮城県											
根拠法令	道路法第56条															
事業	事業目的	<p>みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において、栗原地域と登米地域とを結ぶ延長約24kmの地域高規格道路で、既供用区間並びに国道398号北方バイパスを経由し、東北縦貫自動車道と三陸沿岸道路を最短で接続する広域道路ネットワークを形成する道路である。</p> <p>このうち、IV期(築館工区)は、現在事業中の(仮称)栗原ICと一体となって、東北縦貫自動車道へのアクセス性向上や物流の効率化、地域間防災の強化などを図る道路である。</p> <p>並行する横断軸(仙台北部道路、仙台南部道路)を補完し、格子状骨格道路ネットワークの形成に寄与するとともに、沿道の自動車関連産業等の企業立地を支援する道路である。</p> <p>また、東日本大震災を踏まえ広域的な支援や東西軸を強化する「復興支援道路」として位置づけており、その後の被災地の真の復興を図るため観光振興や地域産業振興に寄与する道路である。</p>														
	事業内容	<table border="1"> <tr> <td>事業着手時 (平成 25 年度)</td> <td>【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=35億円</td> <td>【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 9,000台/日</td> </tr> <tr> <td>再評価時 (平成 27 年度)</td> <td>【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=59億円</td> <td>【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日</td> </tr> <tr> <td>再々評価時 (平成 29 年度)</td> <td>【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=69億円</td> <td>【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日</td> </tr> <tr> <td>完了時 (令和 元 年度)</td> <td>【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=69億円</td> <td>【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日</td> </tr> </table>				事業着手時 (平成 25 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=35億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 9,000台/日	再評価時 (平成 27 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=59億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日	再々評価時 (平成 29 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=69億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日	完了時 (令和 元 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=69億円
事業着手時 (平成 25 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=35億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 9,000台/日														
再評価時 (平成 27 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=59億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日														
再々評価時 (平成 29 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=69億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日														
完了時 (令和 元 年度)	【計画概要】 延長 L=1.7km 道路幅員 W=6.5(8.5)m 全体事業費 C=69億円	【計画諸元】 道路規格 第3種第2級 設計速度 60km/h 計画交通量 10,000台/日														
概要	<p>【事業内容の変更状況とその要因】(再々評価以降変更無し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟弱地盤対策工等の増加及び橋梁区間が増加したもの。(再評価時) ・構造物詳細設計や補償物件が減ったもの。(再評価時) ・関係機関協議による橋梁架設計画の見直しや工事区間周辺の工事用車両増加に伴う舗装補修の増加、床掘残土の路体流用にあたり、セメント改良を行ったもの。(再々評価時) 															
要																

事業費

	全体事業費		費用負担内訳			
			国	県	市町村	その他()
		内用地費及び補償費	[55 %]	[45 %]	[%]	[%]
事業着手時 (平成25年度)	35 億円	6.2 億円	19.25 億円	15.75 億円	億円	億円
再評価時 (平成27年度)	59 億円	3.0 億円	32.45 億円	26.55 億円	億円	億円
再々評価時 (平成29年度)	69 億円	3.0 億円	37.95 億円	31.05 億円	億円	億円
完了時 (令和元年度)	69 億円	3.0 億円	37.95 億円	31.05 億円	億円	億円

【事業費の変更状況とその要因】(再々評価以降変更無し)

- ・軟弱地盤対策工等の増加及び橋梁区間の増加(28.7億円)(再評価時)
- ・構造物詳細設計や補償物件の減(-4.7億円)(再評価時)
- ・橋梁架設計画見直し、工事車両増加に伴う市道補修、残土のセメント改良の増加(10.0億円)(再々評価時)

○事業費増減対照表

	事業着手時 (平成25年度)		再評価時 (平成27年度)		再々評価時 (平成29年度)		完了時 (令和元年度)		増減 (着手時～完了)		変更の主な
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
本工事費		68.3% 23.9億円		89.1% 52.6億円		90.8% 62.6億円		90.8% 62.6億円		113.8% 38.7億円	
道路改良工	1.7km	23.9億円	1.7km	52.6億円	1.7km	62.6億円	1.7km	62.6億円		38.7億円	要因に記載
測量及び試験費	一式	14.0% 4.9億円	一式	5.8% 3.4億円	一式	4.9% 3.4億円	一式	4.9% 3.4億円		-4.3% -1.5億円	要因に記載
用地費及び補償費	一式	17.7% 6.2億円	一式	5.1% 3.0億円	一式	4.3% 3.0億円	一式	4.3% 3.0億円		-9.4% -3.2億円	要因に記載
合計		100% 35億円		100% 59億円		100% 69億円		100% 69億円		100% 34億円	

事業期間

	事業着手時 (平成 25 年度)		再 評 価 時 (平成 27 年度)		再々 評 価 時 (平成 29 年度)	
事業採択予定年度	H. 25 年度	事業採択年度	H. 25 年度	事業採択年度	H. 25 年度	事業採択年度
用地買収予定年度	H. 26 年度	用地買収(予定)年度	H. 26 年度	用地買収年度	H. 26 年度	用地買収年度
工事着手予定年度	H. 26 年度	工事着手(予定)年度	H. 26 年度	工事着手年度	H. 26 年度	工事着手年度
		計画変更実施(予定)年度	H. - 年度	計画変更実施年度	H. - 年度	計画変更実施年度
完成予定年度	H. 29 年度	完成予定年度	H. 30 年度	完成年度	H. 30 年度	完成年度
	完了時 (令和元年度)					
事業採択予定年度	H. 25 年度					
用地買収予定年度	H. 26 年度					
工事着手予定年度	H. 26 年度					
完成予定年度	R. 元 年度					

【事業期間変更の要因】(再々評価時から変更有り)

- ・軟弱地盤対策工等や橋梁区間が増加したため。(再評価時:H29⇒H30)
- ・地山の一部の土質が想定よりも脆弱であり、対策工の検討に時間を要したため。(完了時:H30⇒R元)

施設管理状況

- ・令和元年6月9日に供用を開始し、交通の支障となるような管理上の問題は発生していない。

事業効果

○効果の発現状況

・当該事業を含むみやぎ県北高速幹線道路Ⅰ期～Ⅳ期の完成・供用により、沿岸部と内陸部を結ぶ信頼性の高い広域道路ネットワークが形成され、復興支援道路として被災地等における地域産業の振興、観光交流の活性化、救急医療活動への支援が図られている。

・冬季の地吹雪などの自然災害により東北縦貫自動車道が通行止めとなった際に、みやぎ県北高速幹線道路が迂回路として機能しており、太平洋沿岸部のリダンダンシーが確保されるなど、平時・災害時を問わない信頼性の高い道路ネットワークが構築されている。

・さらに、並走路線である(一)若柳築館線の交通量は減少傾向で、市街地の通過交通の分散が図られており、地元関係者からも並走路線を安心して運転できるようになった等の意見があったほか、交通量減少により交通事故の減少にも寄与していると考えられる。

・**現道及び当該道路の交通量**(24時間あたり)

(一)若柳築館線(築館東IC～国道4号区間)

	H30年11月調査 (Ⅳ期供用前)	⇒	R元年7月調査 (Ⅳ期供用後)	⇒	R4年11月調査
平日:	約7,600台		約4,500台		約4,000台
(開通前との比較:平日)			(約3,100台減少)		(約3,600台減少)

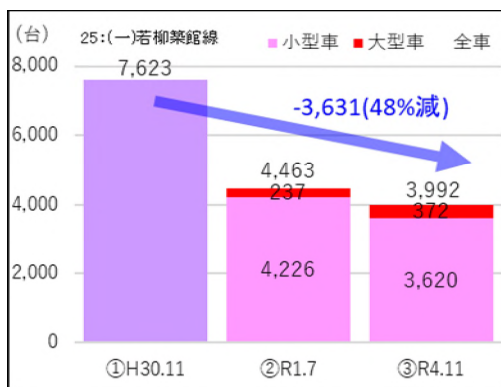
(主)築館登米線(国道4号～(主)河南築館線区間)

	H30年11月調査 (Ⅳ期供用前)	⇒	R元年7月調査 (Ⅳ期供用後)	⇒	R4年11月調査
平日:	約4,500台		約4,500台		約4,400台
(開通前との比較:平日)			(増減なし)		(微減)

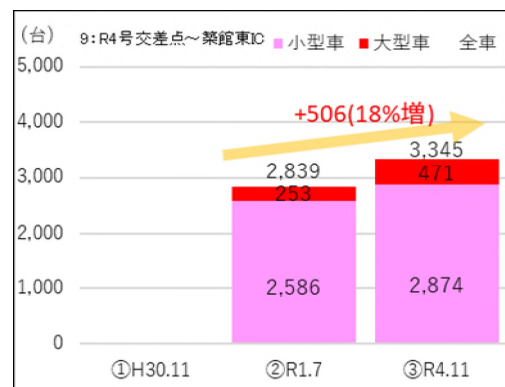
みやぎ県北高速幹線道路Ⅳ期(築館工区)

	H30年11月調査 (Ⅳ期供用前)	⇒	R元年7月調査 (Ⅳ期供用後)	⇒	R4年11月調査
平日:	—		約2,800台		約3,400台
(開通前との比較:平日)			—		(約3,400台増加)

<(一)若柳築館線:築館東IC～国道4号区間>
24時間当たり交通量(平日)



<みやぎ県北Ⅳ期(築館工区)>
24時間当たり交通量(平日)



○社会経済情勢の変化

- ・みやぎ県北高速幹線道路については、当該工区に続き、Ⅲ期(佐沼工区)が令和3年12月17日に供用を開始している。
- ・当該工区から東北縦貫自動車道に直接乗り入れできる新たなインターチェンジ((仮称)栗原インターチェンジ)及び当該事業が接続する国直轄事業の国道4号築館バイパスについては現在整備中となっている。
- ・国直轄事業で整備していた復興道路である三陸沿岸道路については、令和3年12月18日に全線供用を開始している。

事業の有効性	○地元の意見、満足度 当該道路沿線の行政区長へ当該事業整備後の効果に関するアンケートを実施。（令和6年3月調査） 〈代表的な意見〉			
	<ul style="list-style-type: none"> ・(一)若柳築館線の交通量が減り、安心して運転できるようになった。 ・石巻や気仙沼へ向かう時間が短縮された。行動範囲も広がった。 ・沿岸部との通行、交流、物流に際し、利便性が向上したと思う。 ・国道4号バイパスの延伸や東北縦貫自動車道との接続が完了すれば、さらに利便性が向上すると思う。 ・有事の際の避難路としての機能も期待されることを考えると、有意義な事業だと思う。 			
事業の効率性	費用対効果	(再々評価時 平成29年、基準年 平成29年) B/C=1.50		
		(完了後 令和元年、基準年 令和6年) B/C=1.13		
影響と対策	※再々評価時はIV期(築館工区)単体、完了後はみやぎ県北高速幹線道路及び(仮称)栗原ICの一体的に効果を発揮する道路ネットワークでB/Cを算定している。			
	※完了時は令和3年11月に国からの通知により、「複数の区間又は箇所を一体とした評価の運用」が改定されたため、一体で効果を発揮する道路ネットワーク単位で算出している。			
影響と対策	影響と対策	道路改良の盛土法面において緑化を行った。		
		工事施工においては、低騒音振動重機を利用し、周辺環境への騒音・振動に配慮した。		
再評価部会意見への対応状況	再評価実施状況			
	再評価実施年度	平成27年度		
	答申	答申	継続妥当	
		条件	-	
	別紙意見	答	1 審議対象事業の実施に関する意見 復興支援道路としての目的の速やかな実現のため、迅速な施工を行い、早期完成に努めること。 なお、将来的には東北縦貫自動車道との接続など、道路ネットワークの効率性を高めるための方策が検討されることを期待する。	
			2 今後の事業実施に関する意見	
	別紙意見	申	(1)事業全般 地質調査の結果の蓄積、庁内における情報共有、さらなる技術力の向上を図ることなど、事業費の見積りの精度を高めるための方策について検討すること。	
			(2)道路事業 事業の計画及び実施に当たっては、県土全体の道路ネットワークにおける当該事業の位置付けを明確にし、より高い事業効果の発現に努めること。	
	評価結果	評価結果	事業継続	
		対応方針	-	
別紙意見に対する対応方針		評	1 審議対象事業の実施に関する意見への対応方針 今後の建設工事に当たっては、復興支援道路としての目的の速やかな実現を図るべく、迅速な施工を行い、早期完成に努める。 また、供用後の利用状況や社会経済情勢の変化等も踏まえながら、道路ネットワークの効率性を高めるための方策について、必要に応じて検討を行う。	
			2 今後の事業実施に関する意見への対応方針	
別紙意見に対する対応方針	果	(1)事業全般 地質調査の結果等のデータベース化を進めるとともに、庁内における情報共有やさらなる技術力の向上など、事業費の見積りの精度を高めるための各種方策について検討する。		
		(2)道路事業 事業の計画及び実施の各段階において、県土全体の道路ネットワークにおける当該事業の位置付けを明確にし、より高い事業効果の発現に努める。		

再 評 価 部 会 意 見 へ の 対 応 状 況	再々評価実施状況		
	再々評価実施年度	平成29年度	
	答 申	答申	継続妥当
		条件	—
		別紙意見	1 審議対象事業の実施に関する意見
			無し
		2 今後の事業実施に関する意見	
		(1)事業全般 事業費が増額となる原因の整理、分析を進め、当該データの蓄積を行うとともに、庁内における情報共有を図り、事業費の見積り精度を高めるよう努めること。	
	評 価 結 果	評価結果	事業継続
		対応方針	—
別紙意見 に対する 対応方針		1 審議対象事業の実施に関する意見への対応方針	
		無し	
	2 今後の事業実施に関する意見への対応方針		
	(1)事業全般 事業費増額の原因について、実施工事での設計変更理由を整理、分析し、そのデータを蓄積するとともに、職員研修等により庁内における情報共有を図り、今後の事業計画及び実施に当たっての事業費見積り精度の向上に努める。		
再 評 価 部 会 意 見 へ の 対 応 状 況	対応状況		
	1 審議対象事業の実施に関する意見への対応状況 当該事業の工事推進に当たっては、軟弱地盤対策工などにおける遅延はあったものの、復興支援道路としての目的の速やかな実現を図るべく、迅速な施工を行い、早期完成に努めた。		
	2 今後の事業実施に関する意見への対応状況 (1)事業全般 平成31年3月に一般財団法人国土地盤情報センターと「地盤情報の収集と利活用に関する協定」を締結するとともに、地質調査業務等において、同センターが運営する「国土地盤情報データベース」への地質調査結果等の登録を義務化することで、地質調査結果等のデータベース化を図り、積極的に活用することで、事業費の見積り精度の向上に努めている。 事業費増額の要因などについても、工法選定や関係機関協議の経緯を含め、庁内での情報共有を図っている。		
	(2)道路事業 「宮城の道づくり基本計画」(令和3年3月)や「宮城県新広域道路交通計画」(令和3年6月)の策定においては、みやぎ県北高速幹線道路を本県の広域道路ネットワークにおける高規格道路に位置付けている。 また、沿岸部と内陸部を結ぶ広域道路ネットワークを強化し、より高い事業効果の発現を図るため、平成30年度から(仮称)栗原IC整備事業に着手し、整備を進めている。		

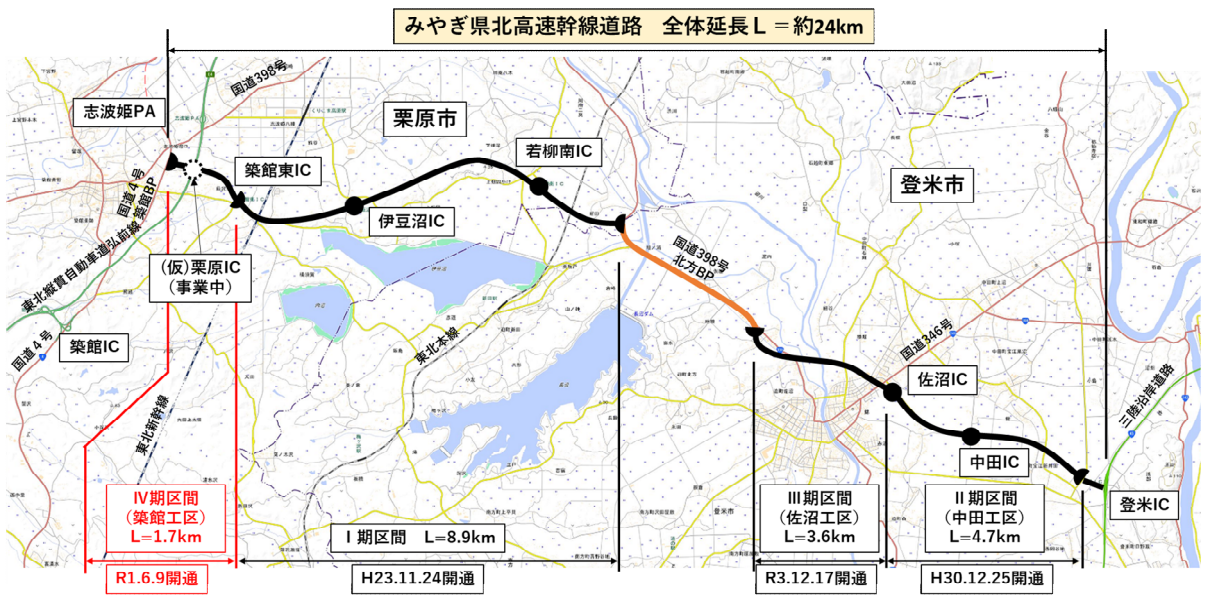
<p>今 後 の 課 題 等</p>	<p>事業目的の達成状況等の総括・今後の課題と対応策等</p> <p>○事業目的の達成状況等の総括</p> <p>当該事業の完成・供用により、沿岸部と内陸部を結ぶ信頼性の高い広域道路ネットワークが形成され、栗原市中心部の交通渋滞の緩和や、復興支援道路として、被災地等における地域産業の振興、観光交流の活性化、救急医療活動への支援が図られている。</p> <p>冬季の地吹雪などの自然災害により東北縦貫自動車道が通行止めとなった際に、みやぎ県北高速幹線道路が迂回路として機能しており、太平洋沿岸部のリダンダンシーが確保されるなど、平時・災害時を問わない信頼性の高い道路ネットワークが構築されている。</p> <p>さらに、並走路線である(一)若柳築館線の交通量は減少傾向で、市街地の通過交通の分散が図られており、地元関係者からも並走路線を安心して運転できるようになった等の意見があったほか、交通量減少により交通事故の減少にも寄与していると考えられることから、事業効果は大きいものと判断する。</p> <p>○今後の同種事業に対する課題と対応策等</p> <p>当該事業の推進に当たっては、軟弱地盤対策工などの要因により事業費の増額や事業期間の延伸に至ったことから、既存の地質調査結果のデータベース等を積極的に活用するとともに、事前の地質調査の的確な実施や関係機関への専門的な技術に関するヒアリングなどを実施し、事業費の見積りの精度を高めるよう努めていく。</p> <p>また、当該事業を推進して培った技術的課題の解決策などの知識・経験については、庁内において情報共有し、土木技術の継承に努めていく。</p>
--	---

位

置



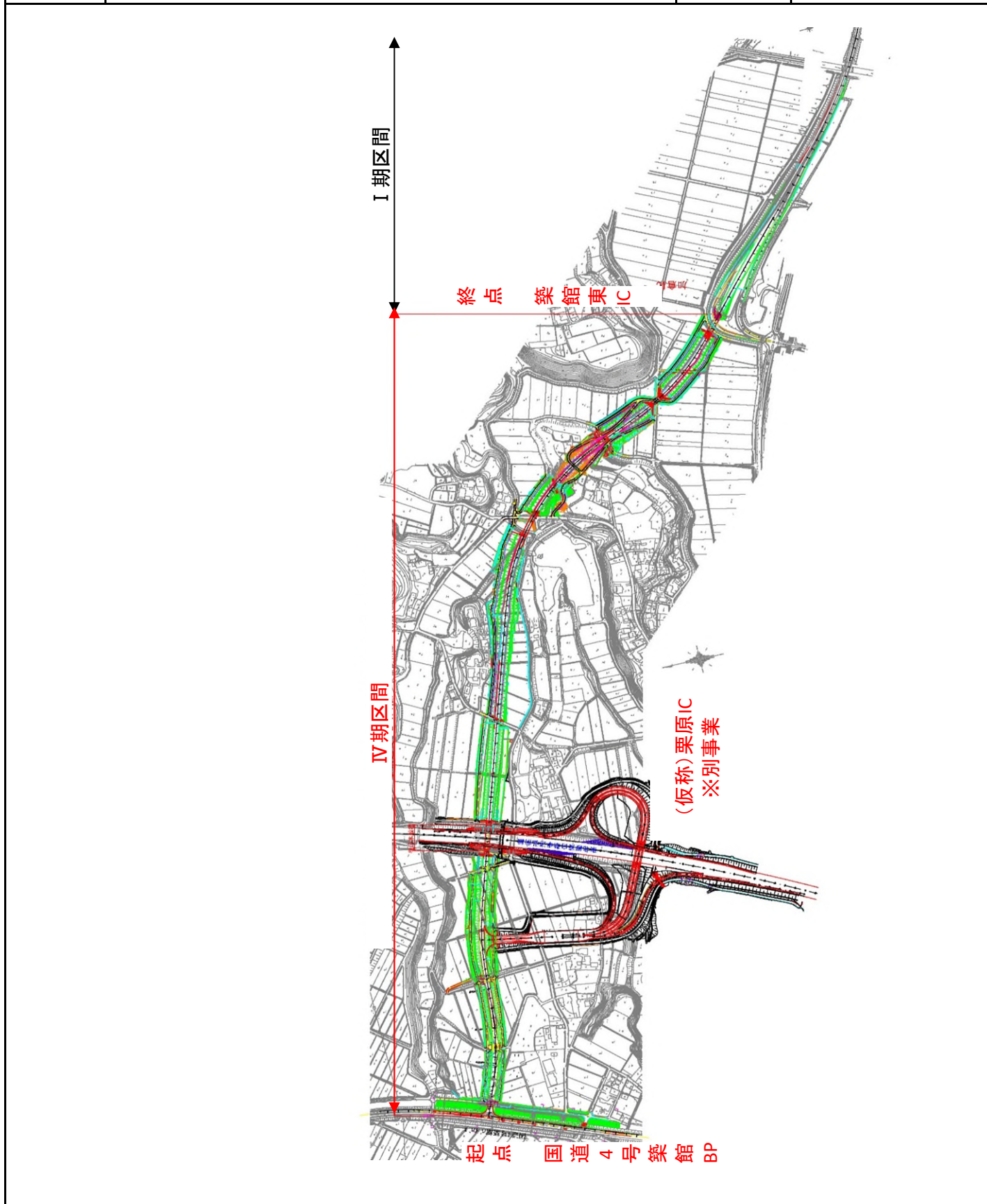
図



(参考資料1)

事業概要図

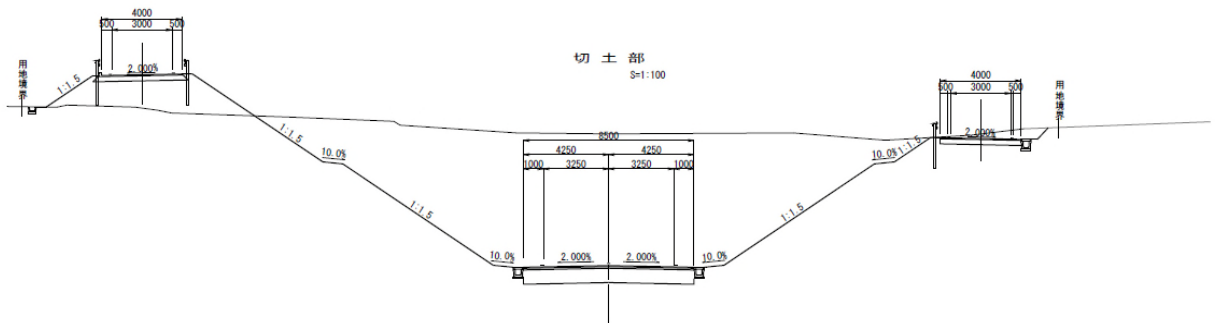
事業名	地域高規格道路 みやぎ ^{けん} 北 ^{ほく} 高速幹線道路 主要地方道築館登米線IV期(築館工区)道路改良事業	施工地名	栗原市志波姫南堀口 ～栗原市築館萩沢
------------	---	-------------	-----------------------



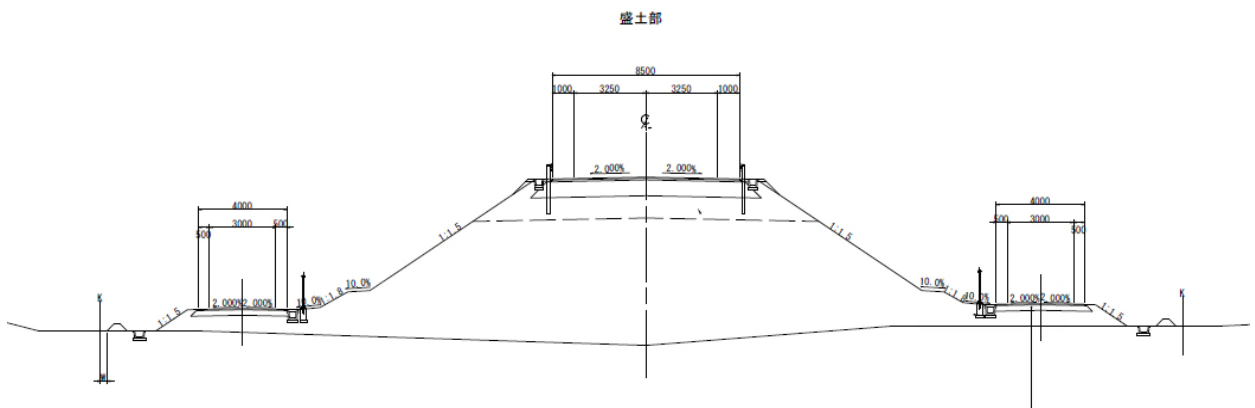
事業概要図

<p>事業名</p>	<p>地域高規格道路 <small>みやぎけんほく</small> 東北高速幹線道路 <small>つきたてとよま</small> 主要地方道築館登米線IV期(築館工区)道路改良事業</p>	<p>施工地名</p>	<p><small>くりはらししわひめみなみほりぐち</small> 栗原市志波姫南堀口 <small>くりはらしつきたてはぎさわ</small> ~ 栗原市築館萩沢</p>
-------------------	--	--------------------	--

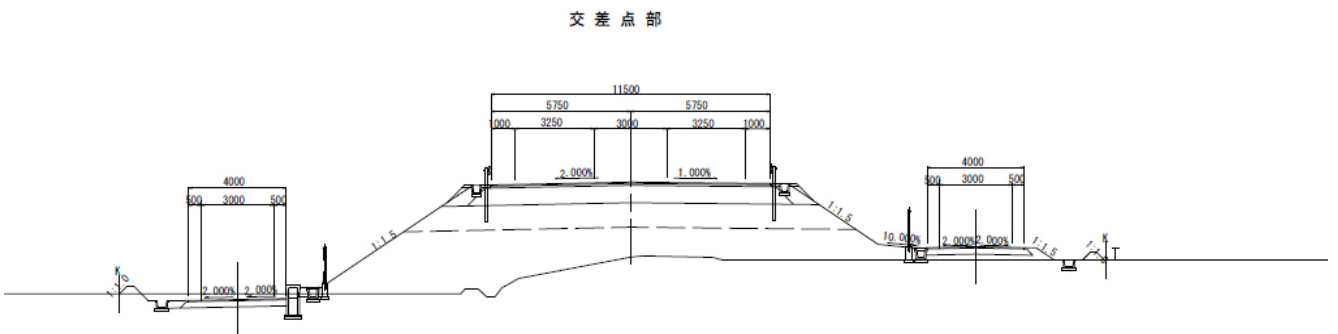
標準部(切土区間)



標準部(盛土区間)



交差点部



事業完成後の状況等

事業名	地域高規格道路 みやぎ ^{けん} ほく ^{ぼく} 東北高速幹線道路 主要地方道築館登米線IV期(築館工区)道路改良事業	施工地名	栗原市志波姫南堀口 ^{くりはらし しまつみめ みなみほりぐち} ～栗原市築館萩沢 ^{くりはらし つきだて はぎさわ}
-----	--	------	---



現況写真
狭隘で歩道の無い(一)若柳築館線



現況写真
狭隘で歩道の無い(一)若柳築館線

事業完成後の状況等

事業名	地域高規格道路 みやぎ ^{けん} ほく ^{ほく} 高速幹線道路 主要地方道築館登米線IV期(築館工区)道路改良事業	施工地名	栗原市志波姫南堀口 ～栗原市築館萩沢
-----	--	------	-----------------------



完成写真(国道4号築館バイパス交差点)
(IV期起点から終点方向を望む)



完成写真(築館東IC)
(IV期終点から起点方向を望む)

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他別
(主)築館登米線	みやぎ県北高速幹線道路	L = 25.9 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
3,400~10,700	2	宮城県

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和6年度			
単純合計	655億円	78億円	115億円	848億円
うち残事業分	69億円	13億円	9億円	91億円
基準年における 現在価値 (C)	1,088億円	38億円	21億円	1,147億円
うち残事業分	61億円	6億円	2億円	69億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和6年度			
供用年	平成24年度、令和元年度、令和2年度、令和4年度、令和12年度			
単年便益 (初年便益)	12億円	3億円	1億円	16億円
基準年における 現在価値 (B)	1,097億円	164億円	39億円	1,300億円
うち残事業分	149億円	9億円	4億円	161億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.13
経済的純現在価値（事業全体）	153億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.5%
費用便益比（残事業）	2.3
経済的純現在価値（残事業）	92億円
経済的内部収益率（残事業）	10.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（事業全体を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,400～10,700	±10%	1.03 ～ 1.23
事業費	848億円	±10%	1.13 ～ 1.14
事業期間	35年	±20%	1.13 ～ 1.14

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,400～10,700	±10%	2.1 ～ 2.6
事業費	91億円	±10%	2.1 ～ 2.6
事業期間	5年	±20%	2.2 ～ 2.4

交通状況の変化

事業名：みやぎ県北高速道路（主）築館登米線

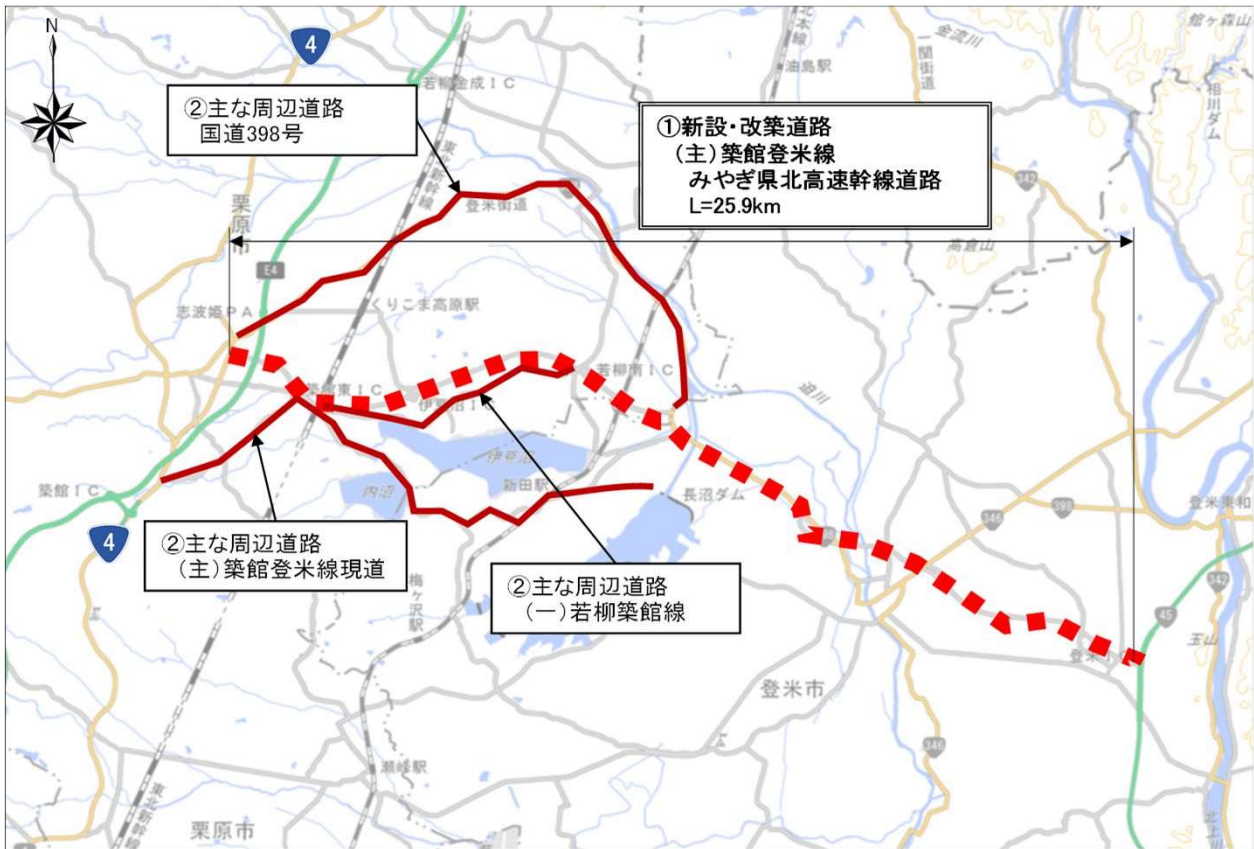
（推計時点 R22年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新築・改築道路 (バイパス等) 25.9km	交通量	[台/日]	—	8,300	
	走行時間	[分]	—	25	
	走行時間費用	[億円/年]	—	43.29	
②主な周辺道路	国道398号:15.2km	交通量	[台/日]	6,500	5,000
		走行時間	[分]	25	24
		走行時間費用	[億円/年]	31.00	22.92
	(主) 築館登米線:14km	交通量	[台/日]	2,600	2,200
		走行時間	[分]	27	27
		走行時間費用	[億円/年]	13.33	11.10
	若柳築館線:6.3km	交通量	[台/日]	1,100	600
		走行時間	[分]	12	12
		走行時間費用	[億円/年]	2.64	1.29
	:0km	交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計: 3556.6km	走行時間費用	[億円/年]	5,012.70	4,940.35	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 3618.1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5,059.67	5,018.94	40.73

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和5年12月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和6年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R22年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分(ロジットモデル)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出根拠を添付すること			
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名:みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/> ※要確認	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 宮城県の維持管理費実績に基づき算出		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表 (事業全体)

箇所名：みやぎ県北高速幹線道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
一般道路部	25.9	0.059
IC部		0.286

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-17年目	H 7	3.1187	113.7	6.88	20.15				
-16年目	H 8	2.9987	113.2	9.95	28.15				
-15年目	H 9	2.8834	114.2	19.07	51.42				
-14年目	H 10	2.7725	113.6	17.86	46.56				
-13年目	H 11	2.6658	112.0	14.64	37.20				
-12年目	H 12	2.5633	110.7	17.19	42.50				
-11年目	H 13	2.4647	109.4	22.91	55.13				
-10年目	H 14	2.3699	107.6	19.45	45.76				
-9年目	H 15	2.2788	106.1	19.29	44.24				
-8年目	H 16	2.1911	105.0	18.10	40.34				
-7年目	H 17	2.1068	103.7	14.19	30.79				
-6年目	H 18	2.0258	103.0	9.65	20.27				
-5年目	H 19	1.9479	102.1	10.97	22.36				
-4年目	H 20	1.8730	101.6	7.45	14.66				
-3年目	H 21	1.8009	100.3	6.67	12.78				
-2年目	H 22	1.7317	98.6	11.43	21.44				
-1年目	H 23	1.6651	97.2	14.55	26.62				
I期 供用開始年度	H 24	1.6010	96.4	4.14	7.34	0.50	0.89		
1年目	H 25	1.5395	96.4	16.06	27.39	0.50	0.85		
2年目	H 26	1.4802	98.7	29.53	47.29	0.49	0.78		
3年目	H 27	1.4233	100.2	37.53	56.93	0.49	0.74		
4年目	H 28	1.3686	100.3	23.86	34.78	0.49	0.71		
5年目	H 29	1.3159	100.5	61.89	86.55	0.49	0.68		
6年目	H 30	1.2653	100.4	60.68	81.67	0.49	0.65		
II期中田工区 供用開始年度	R 1	1.2167	101.2	48.84	62.72	0.73	0.94		
IV期築館工区 供用開始年度	R 2	1.1699	101.9	21.91	26.87	0.82	1.01		
1年目	R 3	1.1249	101.8	14.26	16.83	0.82	0.97		
III期佐沼工区 供用開始年度	R 4	1.0816	102.7	4.81	5.41	1.01	1.14		
1年目	R 5	1.0400	106.8	15.01	15.62	1.01	1.05		
2年目	R 6	1.0000	106.8	7.37	7.37	1.01	1.01		
3年目	R 7	0.9615	106.8	10.00	9.62	1.01	0.97		
4年目	R 8	0.9246	106.8	13.64	12.61	1.01	0.94		
5年目	R 9	0.8890	106.8	20.45	18.18	1.01	0.90		
6年目	R 10	0.8548	106.8	15.35	13.13	1.01	0.87		
7年目	R 11	0.8219	106.8	9.77	8.03	1.01	0.83		
栗原IC 供用開始年度	R 12	0.7903	106.8			1.27	1.01		
1年目	R 13	0.7599	106.8			1.27	0.97		
2年目	R 14	0.7307	106.8			1.27	0.93		
3年目	R 15	0.7026	106.8			1.27	0.89		
4年目	R 16	0.6756	106.8			1.27	0.86		
5年目	R 17	0.6496	106.8			1.27	0.83		
6年目	R 18	0.6246	106.8			1.27	0.80		
7年目	R 19	0.6006	106.8			1.27	0.77		
8年目	R 20	0.5775	106.8			1.27	0.74		
9年目	R 21	0.5553	106.8			1.27	0.71		
10年目	R 22	0.5339	106.8			1.27	0.68		
11年目	R 23	0.5134	106.8			1.27	0.65		
12年目	R 24	0.4936	106.8			1.27	0.63		
13年目	R 25	0.4746	106.8			1.27	0.60		
14年目	R 26	0.4564	106.8			1.27	0.58		
15年目	R 27	0.4388	106.8			1.27	0.56		
16年目	R 28	0.4220	106.8			1.27	0.54		
17年目	R 29	0.4057	106.8			1.27	0.52		
18年目	R 30	0.3901	106.8			1.27	0.50	1.01	0.40
19年目	R 31	0.3751	106.8			1.27	0.48		0.00
20年目	R 32	0.3607	106.8			1.27	0.46	0.12	0.04
21年目	R 33	0.3468	106.8			1.27	0.44		0.00
22年目	R 34	0.3335	106.8			1.27	0.42		0.00
23年目	R 35	0.3207	106.8			1.27	0.41	1.68	0.54
24年目	R 36	0.3083	106.8			1.27	0.39		0.00

25年目	R 37	0.2965	106.8			1.27	0.38	0.38	0.11
26年目	R 38	0.2851	106.8			1.27	0.36		0.00
27年目	R 39	0.2741	106.8			1.27	0.35		0.00
28年目	R 40	0.2636	106.8			1.27	0.34	0.09	0.02
29年目	R 41	0.2534	106.8			1.27	0.32		0.00
30年目	R 42	0.2437	106.8			1.27	0.31	0.51	0.12
31年目	R 43	0.2343	106.8	-28.71	-6.73	1.27	0.30		0.00
32年目	R 44	0.2253	106.8			1.27	0.29	35.29	7.95
33年目	R 45	0.2166	106.8			1.27	0.28		0.00
34年目	R 46	0.2083	106.8			1.27	0.27		0.00
35年目	R 47	0.2003	106.8			1.27	0.26		0.00
36年目	R 48	0.1926	106.8			1.27	0.25	1.01	0.20
37年目	R 49	0.1852	106.8			1.27	0.24		0.00
38年目	R 50	0.1780	106.8	-10.53	-1.87	1.27	0.23		0.00
39年目	R 51	0.1712	106.8	-3.00	-0.51	1.27	0.22	1.73	0.30
40年目	R 52	0.1646	106.8			1.27	0.21	11.62	1.91
41年目	R 53	0.1583	106.8	-5.20	-0.82	1.27	0.20		0.00
42年目	R 54	0.1522	106.8			1.27	0.19	57.44	8.74
43年目	R 55	0.1463	106.8			1.27	0.19		0.00
44年目	R 56	0.1407	106.8			1.27	0.18		0.00
45年目	R 57	0.1353	106.8			1.27	0.17	2.05	0.28
46年目	R 58	0.1301	106.8			1.27	0.17	1.68	0.22
47年目	R 59	0.1251	106.8			1.27	0.16		0.00
48年目	R 60	0.1203	106.8			1.27	0.15		0.00
49年目	R 61	0.1157	106.8	-5.96	-0.69	1.27	0.15		0.00
合計				601.95	1088.08	77.60	38.42	114.61	20.83

単純事業費計	655.36	77.60	114.61
--------	--------	-------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表 (事業全体)

箇所名: みやぎ県北高速幹線道路

年次	年度 (基準年) R6年	H27bs 総走行台別の年次別伸び率 南東北ブロック				割引率 (A)	GDP デフレ率 106.8	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 ①②③×(A)
Ⅰ期 供用開始年度	H 24	1.01647	1.01120	0.99959	1.01351	1.6010	96.4	4.79	0.89	1.35	7.04	12.48	1.06	0.17	0.30	1.54	2.72	0.30	0.53	8.87	15.73
1年目	H 25	1.00719	1.00214	0.99081	1.00436	1.5395	96.4	4.87	0.90	1.35	7.12	12.15	1.07	0.18	0.30	1.55	2.65	0.30	0.51	8.98	15.31
2年目	H 26	1.01902	1.01407	1.00279	1.01626	1.4802	98.7	4.90	0.90	1.34	7.15	11.45	1.08	0.18	0.30	1.56	2.50	0.30	0.48	9.01	14.43
3年目	H 27	0.99628	0.98501	1.01162	0.99632	1.4233	100.2	5.00	0.92	1.34	7.26	11.01	1.10	0.18	0.30	1.58	2.40	0.31	0.47	9.15	13.88
4年目	H 28	0.99626	0.98479	1.01148	0.99631	1.3686	100.3	4.98	0.90	1.36	7.24	10.55	1.10	0.18	0.31	1.58	2.30	0.31	0.45	9.13	13.30
5年目	H 29	0.99625	0.98455	1.01135	0.99630	1.3159	100.5	4.96	0.89	1.38	7.22	10.10	1.09	0.17	0.31	1.58	2.21	0.30	0.43	9.11	12.73
6年目	H 30	0.99623	0.98431	1.01122	0.99628	1.2653	100.4	4.94	0.87	1.39	7.21	9.70	1.09	0.17	0.31	1.57	2.12	0.30	0.41	9.08	12.23
Ⅱ期中田工区 供用開始年度	H 31	0.99622	0.98406	1.01110	0.99627	1.2167	101.2	14.27	3.81	3.92	21.99	28.24	2.77	0.48	0.73	3.98	5.11	0.90	1.15	26.87	34.50
Ⅳ期築館工区 供用開始年度	R 2	0.99620	0.98380	1.01098	0.99625	1.1699	101.9	14.48	3.63	4.22	22.33	27.38	2.76	0.44	0.76	3.97	4.86	0.91	1.11	27.20	33.35
1年目	R 3	0.99619	0.98353	1.01086	0.99624	1.1249	101.8	14.42	3.57	4.27	22.26	26.27	2.75	0.44	0.77	3.96	4.67	0.90	1.06	27.11	32.00
Ⅲ期佐沼工区 供用開始年度	R 4	0.99618	0.98326	1.01074	0.99623	1.0816	102.7	21.94	6.02	6.23	34.19	38.46	3.74	0.64	0.99	5.37	6.04	1.27	1.43	40.83	45.92
1年目	R 5	0.99616	0.98297	1.01063	0.99621	1.0400	106.8	21.85	5.92	6.30	34.07	35.44	3.72	0.63	1.00	5.35	5.57	1.27	1.32	40.69	42.32
2年目	R 6	0.99615	0.98268	1.01052	0.99620	1.0000	106.8	21.77	5.82	6.37	33.96	33.96	3.71	0.62	1.01	5.34	5.34	1.26	1.26	40.56	40.56
3年目	R 7	0.99613	0.98237	1.01041	0.99618	0.9615	106.8	21.69	5.72	6.43	33.84	32.54	3.70	0.60	1.02	5.32	5.12	1.26	1.21	40.42	38.86
4年目	R 8	0.99612	0.98206	1.01030	0.99617	0.9246	106.8	21.60	5.62	6.50	33.72	31.18	3.68	0.59	1.03	5.31	4.91	1.25	1.16	40.28	37.24
5年目	R 9	0.99610	0.98173	1.01019	0.99615	0.8890	106.8	21.52	5.52	6.57	33.60	29.87	3.67	0.58	1.04	5.29	4.71	1.25	1.11	40.14	35.69
6年目	R 10	0.99609	0.98139	1.01009	0.99614	0.8548	106.8	21.43	5.42	6.64	33.49	28.62	3.65	0.57	1.05	5.28	4.51	1.24	1.06	40.01	34.20
7年目	R 11	0.99607	0.98104	1.00999	0.99612	0.8219	106.8	21.35	5.32	6.70	33.37	27.43	3.64	0.56	1.06	5.27	4.33	1.24	1.02	39.87	32.77
栗原IC 供用開始年度	R 12	0.99408	0.98904	1.00886	0.99562	0.7903	106.8	26.63	6.71	8.91	42.25	33.39	4.02	0.57	1.16	5.74	4.54	1.44	1.14	49.44	39.07
1年目	R 13	0.99404	0.98892	1.00878	0.99560	0.7599	106.8	26.48	6.64	8.98	42.10	31.99	3.99	0.56	1.17	5.73	4.35	1.44	1.09	49.26	37.44
2年目	R 14	0.99400	0.98880	1.00871	0.99558	0.7307	106.8	26.32	6.57	9.06	41.95	30.65	3.97	0.55	1.18	5.71	4.17	1.43	1.05	49.09	35.87
3年目	R 15	0.99397	0.98867	1.00863	0.99557	0.7026	106.8	26.16	6.49	9.14	41.80	29.37	3.95	0.55	1.19	5.69	3.99	1.43	1.00	48.91	34.36
4年目	R 16	0.99393	0.98854	1.00856	0.99555	0.6756	106.8	26.00	6.42	9.22	41.64	28.13	3.92	0.54	1.20	5.67	3.83	1.42	0.96	48.73	32.92
5年目	R 17	0.99389	0.98841	1.00848	0.99553	0.6496	106.8	25.85	6.34	9.30	41.49	26.95	3.90	0.53	1.21	5.65	3.67	1.41	0.92	48.55	31.54
6年目	R 18	0.99386	0.98827	1.00841	0.99551	0.6246	106.8	25.69	6.27	9.38	41.34	25.82	3.88	0.53	1.22	5.63	3.51	1.41	0.88	48.37	30.21
7年目	R 19	0.99382	0.98813	1.00834	0.99549	0.6006	106.8	25.53	6.20	9.46	41.19	24.74	3.85	0.52	1.23	5.61	3.37	1.40	0.84	48.19	28.94
8年目	R 20	0.99378	0.98799	1.00827	0.99546	0.5775	106.8	25.37	6.12	9.54	41.03	23.70	3.83	0.52	1.24	5.59	3.23	1.39	0.80	48.01	27.73
9年目	R 21	0.99374	0.98784	1.00821	0.99544	0.5553	106.8	25.21	6.05	9.62	40.88	22.70	3.80	0.51	1.25	5.57	3.09	1.39	0.77	47.84	26.56
10年目	R 22	0.99067	0.99180	0.99989	0.99271	0.5339	106.8	25.06	5.98	9.70	40.73	21.75	3.78	0.50	1.26	5.55	2.96	1.38	0.74	47.66	25.44
11年目	R 23	0.99059	0.99174	0.99989	0.99266	0.5134	106.8	24.82	5.93	9.69	40.45	20.76	3.75	0.50	1.26	5.51	2.83	1.37	0.70	47.32	24.30
12年目	R 24	0.99050	0.99167	0.99989	0.99260	0.4936	106.8	24.59	5.88	9.69	40.16	19.82	3.71	0.50	1.26	5.47	2.70	1.36	0.67	46.99	23.19
13年目	R 25	0.99041	0.99160	0.99989	0.99255	0.4746	106.8	24.36	5.83	9.69	39.88	18.93	3.67	0.49	1.26	5.43	2.58	1.35	0.64	46.66	22.14
14年目	R 26	0.99031	0.99153	0.99989	0.99249	0.4564	106.8	24.12	5.78	9.69	39.59	18.07	3.64	0.49	1.26	5.39	2.46	1.34	0.61	46.32	21.14
15年目	R 27	0.99022	0.99145	0.99989	0.99243	0.4388	106.8	23.89	5.73	9.69	39.31	17.25	3.60	0.48	1.26	5.35	2.35	1.33	0.58	45.99	20.18
16年目	R 28	0.99012	0.99138	0.99989	0.99238	0.4220	106.8	23.66	5.68	9.69	39.03	16.47	3.57	0.48	1.26	5.31	2.24	1.32	0.56	45.66	19.27
17年目	R 29	0.99002	0.99131	0.99989	0.99232	0.4057	106.8	23.42	5.63	9.69	38.74	15.72	3.53	0.47	1.26	5.27	2.14	1.31	0.53	45.32	18.39
18年目	R 30	0.98992	0.99123	0.99989	0.99226	0.3901	106.8	23.19	5.59	9.69	38.46	15.00	3.50	0.47	1.26	5.23	2.04	1.30	0.51	44.99	17.55
19年目	R 31	0.98982	0.99115	0.99989	0.99220	0.3751	106.8	22.95	5.54	9.69	38.18	14.32	3.46	0.47	1.26	5.19	1.95	1.29	0.48	44.66	16.75
20年目	R 32	0.98972	0.99107	0.99989	0.99214	0.3607	106.8	22.72	5.49	9.68	37.89	13.67	3.43	0.46	1.26	5.15	1.86	1.28	0.46	44.32	15.99
21年目	R 33	0.98961	0.99099	0.99989	0.99207	0.3468	106.8	22.49	5.44	9.68	37.61	13.04	3.39	0.46	1.26	5.11	1.77	1.27	0.44	43.99	15.26
22年目	R 34	0.98950	0.99091	0.99989	0.99201	0.3335	106.8	22.25	5.39	9.68	37.32	12.45	3.36	0.45	1.26	5.07	1.69	1.26	0.42	43.66	14.56
23年目	R 35	0.98939	0.99083	0.99989	0.99195	0.3207	106.8	22.02	5.34	9.68	37.04	11.88	3.32	0.45	1.26	5.03	1.61	1.25	0.40	43.33	13.89
24年目	R 36	0.98927	0.99074	0.99989	0.99188	0.3083	106.8	21.79	5.29	9.68	36.76	11.33	3.29	0.45	1.26	4.99	1.54	1.24	0.38	42.99	13.25
25年目	R 37	0.98916	0.99066	0.99989	0.99181	0.2965	106.8	21.55	5.24	9.68	36.47	10.81	3.25	0.44	1.26	4.95	1.47	1.23	0.36	42.66	12.65
26年目	R 38	0.98904	0.99057	0.99989	0.99175	0.2851	106.8	21.32	5.19	9.68	36.19	10.32	3.22	0.44	1.26	4.92	1.40	1.22	0.35	42.33	12.07
27年目	R 39	0.98892	0.99048	0.99989	0.99168	0.2741	106.8	21.08	5.14	9.68	35.91	9.84	3.18	0.43	1.26	4.88	1.34	1.21	0.33	41.99	11.51
28年目	R 40	0.98879	0.99039	0.99989	0.99161	0.2636	106.8	20.85	5.10	9.68	35.62	9.39	3.15	0.43	1.26	4.84	1.27	1.20	0.32	41.66	10.98
29年目	R 41	0.98867	0.99029	0.99989	0.99154	0.2534	106.8	20.62	5.05	9.68	35.34	8.95	3.11	0.42	1.26	4.80	1.22	1.19	0.30	41.33	10.47
30年目	R 42	0.98854	0.99020	0.99989	0.99146	0.2437	106.8	20.38	5.00	9.67	35.06	8.54	3.08	0.42	1.26	4.76	1.16	1.18	0.29	40.99	9.99
31年目	R 43	0.98840	0.99010	0.99989	0.99139	0.2343	106.8	20.15	4.95	9.67	34.77	8.15	3.04	0.42	1.26	4.72	1.11	1.17	0.27	40.66	9.53
32年目	R 44	0.98827	0.99000	0.99989	0.99132	0.2253	106.8	19.92	4.90	9.67	34.49	7.77	3.00	0.41	1.26	4.68	1.05	1.16	0.26	40.33	9.09
33年目	R 45	0.98813	0.98990	0.99989	0.99124	0.2166	106.8	19.68	4.85	9.67	34.20	7.41	2.97	0.41	1.26	4.64	1.00	1.15	0.25	39.99	8.66
34年目	R 46	0.98799	0.98980	0.99989	0.99116	0.2083	106.8	19.45	4.80	9.67	33.92	7.07	2.93	0.40	1.26	4.60	0.96	1.14	0.24	39.66	8.26

35年目	R 47	0.98784	0.98969	0.99989	0.99108	0.2003	106.8	19.22	4.75	9.67	33.64	6.74	2.90	0.40	1.26	4.56	0.91	1.13	0.23	39.33	7.88
36年目	R 48	0.98769	0.98959	0.99989	0.99100	0.1926	106.8	18.98	4.70	9.67	33.35	6.42	2.86	0.40	1.26	4.52	0.87	1.12	0.22	38.99	7.51
37年目	R 49	0.98754	0.98948	0.99989	0.99092	0.1852	106.8	18.75	4.65	9.67	33.07	6.12	2.83	0.39	1.26	4.48	0.83	1.11	0.21	38.66	7.16
38年目	R 50	0.98738	0.98936	0.99989	0.99084	0.1780	106.8	18.51	4.61	9.67	32.79	5.84	2.79	0.39	1.26	4.44	0.79	1.10	0.20	38.33	6.82
39年目	R 51	0.98722	0.98925	0.99989	0.99075	0.1712	106.8	18.28	4.56	9.66	32.50	5.56	2.76	0.38	1.26	4.40	0.75	1.09	0.19	37.99	6.50
40年目	R 52	0.98705	0.98913	0.99989	0.99067	0.1646	106.8	18.05	4.51	9.66	32.22	5.30	2.72	0.38	1.26	4.36	0.72	1.08	0.18	37.66	6.20
41年目	R 53	0.98688	0.98901	0.99989	0.99058	0.1583	106.8	17.81	4.46	9.66	31.93	5.06	2.69	0.38	1.26	4.32	0.68	1.07	0.17	37.33	5.91
42年目	R 54	0.98671	0.98889	0.99989	0.99049	0.1522	106.8	17.58	4.41	9.66	31.65	4.82	2.65	0.37	1.26	4.28	0.65	1.06	0.16	36.99	5.63
43年目	R 55	0.98653	0.98877	0.99989	0.99040	0.1463	106.8	17.35	4.36	9.66	31.37	4.59	2.62	0.37	1.26	4.24	0.62	1.05	0.15	36.66	5.36
44年目	R 56	0.98635	0.98864	0.99989	0.99031	0.1407	106.8	17.11	4.31	9.66	31.08	4.37	2.58	0.36	1.26	4.20	0.59	1.04	0.15	36.33	5.11
45年目	R 57	0.98616	0.98851	0.99989	0.99021	0.1353	106.8	16.88	4.26	9.66	30.80	4.17	2.55	0.36	1.26	4.16	0.56	1.03	0.14	35.99	4.87
46年目	R 58	0.98596	0.98837	0.99989	0.99011	0.1301	106.8	16.65	4.21	9.66	30.52	3.97	2.51	0.35	1.26	4.13	0.54	1.02	0.13	35.66	4.64
47年目	R 59	0.98576	0.98824	0.99989	0.99002	0.1251	106.8	16.41	4.16	9.66	30.23	3.78	2.48	0.35	1.26	4.09	0.51	1.01	0.13	35.33	4.42
48年目	R 60	0.98556	0.98810	0.99989	0.98992	0.1203	106.8	16.18	4.12	9.66	29.95	3.60	2.44	0.35	1.26	4.05	0.49	1.00	0.12	34.99	4.21
49年目	R 61	0.98535	0.98795	0.99989	0.98981	0.1157	106.8	15.94	4.07	9.65	29.66	3.43	2.41	0.34	1.26	4.01	0.46	0.99	0.11	34.66	4.01
合計								1,330.03	327.32	553.27	2,210.61	1,096.76	208.21	29.68	75.14	313.03	164.48	76.40	39.18	2,600.04	1,300.42